



～ ゴールに向かって、今日からスパート ～

校長 小木曾敏樹

12日間の短いお休みでしたが、ラストスパートをかける心の準備には十分なお休みになっただろうと思います。さあ、今日から、「第6期」が始まります。本年度の残された登校日数は、今日を含め、3年生37日間、38日目は卒業式です。1・2年生51日間です。1年間のゴールはもう見えてきました。

だから、今日から、今から、スパートです。

今日、令和8年度前期生徒会執行部、各委員会委員長選挙の告示がされます。つまり、もう既に来年度に向けて始動しているということです。実際に活動するのは4月からかもしれませんが、もうその準備は始まっています。君自身の準備は始まっていますか？

6年生の子と保護者をお迎えして行う入学説明会は、今月30日（金）です。それまでの登校日数はあと16日間です。1年生のことですから、きっと準備は何とかなることでしょう。ただ、先輩として、1年間の成長を明確に示すことはできますか？ 小学生とは違う、中学生としての「大人」をはっきりと示すことはできますか？ 中学2年生になる君たちが、中学1年生らしくしているのか、そう見えていいのか？ 「大人」な部分は、日ごろの生活に表れていますか？ 授業に表れていますか？ 仲間との生活に表れていますか？ その日だけつくろっても「大人」な部分は見えない。

卒業していく3年生への感謝を伝え、苗木中のバトンを引き継ぐ「伝統を引き継ぐ会」は来月27日（金）です。それまでの登校日数は34日間です。1ヶ月間以上あるから、形は何とかなることでしょう。ただ、バトンを受け取る心の準備はできていますか？ 苗木中の中心となり、先頭に立ち、学校を動かしていく力を身につけていますか？ 今の君自身は、そのバトンを受け取る資格がもらえますか？ 昨年、取材してくださった新聞記者のお2人は、「いいものをみせていただきました。感動しました。」と言って帰られました。感動を巻き起こす力が付いていますか？

卒業式まで、残り登校日数は38日間。いよいよカウントダウンが始まる。卒業証書は誰もがもらえる。ただ、その証書をどうもらうのが問題なのです。義務教育の9年間で過ぎたという証明書としてなら今のままでいい。苗木中で努力し、成長し、友情を培い、深め、精一杯生きたという証としてもらうためには、まだ足りないものはないか？ 責任ある大人社会の入口に近づく4月を迎える。2～3年以内に、君たちは法的に成人となる。本当の「大人」になる準備はできているのか？ 何か口実を作り、誰かのせいにして、逃げられる理由を探してはいないか？ 自分の弱さや未熟さを、認められず、受け入れられずに、顔を背けていないか？

3年生にとっては2ヶ月弱、1・2年生にとっては3ヶ月弱のこの期間、つまり今日から始まる「第6期」は、君たちが、確実に「1つ大人になる」ための大切な期間です。

「第6期」を成長の有意義な時とするために、4月に言ったことをもう一度言おう。

「やさしさを、ためらうな」

「頑張ることを、ためらうな」

「涙することを、ためらうな」

～ 地域の皆さんに、心から感謝 ～

冬休み前の最終日、12月26日。他校はきっと午前中に授業をやって、休み前集会、学活をやって、早めに下校していたことでしょう。苗木中は、集会や学活はりましたが、授業ではなく球技大会決勝戦でしたね。そして、他校が下校している頃、美味しいホクホクの焼き芋を食べていました。違う意味で、変な学校ですね。

毎年恒例のようになってきた、この焼き芋。文化委員会の企画で行われています。なぜ文化委員会なのかよく分かりませんが、楽しい企画でいいじゃないですか。春に苗を植え、文化委員の人たちがせっせと水をやり、いい芋に育ちました。今年の芋は特に甘くていい芋になったそうですね。1年間頑張ってきたご褒美ですね。文化委員の皆さんに、全校生徒で感謝しましょう。

さて、芋を育て収穫したのは文化委員ですが、美味しく焼き上げてくれたのは地域の皆さんです。火をたく木材を持ってきてくださり、火の番をしながら芋を焼いてくださり、焼きあがった芋は冷めないように火の近くで保温していただきました。お昼過ぎから夕方まで、ずっと立ったまま、作業をしてくださいました。全ては、君たちのためにです。

かつて苗木中で学んだOBやOGが、後輩である君たちのために半日仕事を休んで、苗木中まで来てくださったわけです。自分自身が中学生の頃、地域の方々の学校に対する想いや期待、そんなことは考えたこともなかった。挨拶も普通にしていたけれど、特に地域とか意識してはいなかった。きっと君たちもそうだと思うのです。

けれど、こんなふうに君たちのために時間を使い、手間をかけてしてくださる。その想いを少しは知ることができたなら、明日からの挨拶も少しは変わるのではないのでしょうか。

今、どの学校でも、学校運営協議会という組織があり、地域の方々や保護者の代表と学校とが、地域と共にある学校づくり、つまりよく耳にするコミュニティースクールの実現に向けて、話し合ったり、君たちのために協力したりする組織です。今回の焼き芋もその取組の1つです。体育大会前のグラウンドの草取り、1年生の調理実習、あんどん祭りの企画などもそうです。地域の方々が学校のために協力したり、生徒たちが地域のために取り組んだりして、地域と共にある学校づくりをしているわけです。多くの方々に支えられて、楽しい苗木中の今があるのです。

